

部 局 名	都市部
部 局 長 名	森 晋野
部の運営方針	<p>○令和 4 年度スタートの都市計画マスタープランに即した都市づくりを進めていきます。</p> <p>○第四次総合計画の基本目標を達成するための、関連施策に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・継続的にまちが発展できる土地利用を進めるため、新たな産業系の土地利用について、関係部局や千葉県との調整を進めていきます。</li><li>・手賀沼沿い斜面林や古利根沼周辺の保全に努めるとともに、市民の森などの緑地を、市民の憩いの場として保全していきます。</li><li>・誰もが使いやすい、快適な公園を目指し、適切な維持、管理をするとともに、引き続き、市内の大規模公園においてはキッチンカーや露店の出店により、公園の利用促進及び魅力の向上に努めます。</li><li>・若い世代の定住化に向けた住宅施策を進めます。</li></ul> <p>○都市部所管の分野別計画の目標を達成するため、計画的に事業を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・緑豊かな都市空間を創出するため、市街地における緑化を推進します。</li><li>・適正な規制・誘導により、地域の特性に応じた土地利用を推進します。</li><li>・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、必要な見直しを行っていきます。</li><li>・特定行政庁として、総合的な建築行政を進めます。</li><li>・公園の維持管理への市民の係わりを更に進め、市民がより身近で親しみやすい公園にしていきます。</li><li>・（仮称）千葉北西連絡道路については、本市の交通状況等の課題の解消や、市の発展に寄与する計画となるよう、国や県と協議を進めます。また、情報収集に努め、市民等に提供していきます。</li><li>・公園坂通りについては、沿道住民や地権者等の関係者との意見交換を通じて、「歩きたくなるみち」をコンセプトとした市のシンボルロードとして、にぎわいにつながる沿道周辺地区のまちづくりを進めます。</li><li>・市営住宅の将来需要等を見据え、長寿命化を図るとともに、家賃等の滞納縮減をさらに進めていきます。</li><li>・誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全、形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。</li><li>・景観条例や地区計画制度などを活用するとともに、さまざまな景観情報を積極的に発信し、市民や事業者とともに魅力ある景観づくりを進めます。</li><li>・誰もが安心して暮らせるように民間住宅の耐震化の支援を行います。</li></ul>

部 局 名	都市部
部 局 長 名	中場 聡
部の運営方針 に対する総合 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部の運営方針については、概ね目標どおり着実に推進することができました。</li> <li>・第四次総合計画の基本目標である、「快適で住み続けたいまちづくり」の達成については、市の発展を担う産業系土地利用の誘導に向けた地権者や都市計画関係機関との協議、開発行為や建築行為の適正な規制、誘導、利用したくなる公園としての維持、管理など、適正に各事業を推進しました。</li> <li>・（仮称）千葉北西連絡道路については、「千葉北西連絡道路基本方針」が国により策定され、次のステップである概略計画の検討（計画段階評価）に入る段階となりました。</li> <li>・公園坂通りについては、沿道住民や地権者等との懇談会の開催や市民へのアンケートを通じ、沿道周辺地区のまちづくりへの意見を広く募集しながら、にぎわいや景観の形成などシンボルロード整備の一役を担う地区計画の素案を作成しました。</li> </ul>

## 令和4年度 課の目標管理書

課名：都市部 都市計画課

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・都市計画法や都市計画マスタープランに基づき、各部門が関連する土地利用について調整し、適正な規制・誘導に必要な都市計画決定・変更を行います。
- ・公園坂通りと沿道周辺について、「歩きたくなるみち」をコンセプトとしたシンボルロード整備に向け、沿道住民調整を通じた地区計画や景観形成の観点からの沿道づくりを図ります。
- ・千葉北西連絡道路について、市の発展に寄与する計画となるよう関係機関に働きかけるとともに市民へ情報提供を行います。また、その計画等を踏まえ、幹線道路網の検証・検討を行います。
- ・景観法や条例に基づき、市民や事業者との協力により都市景観の形成を進めます。
- ・景観団体や市民と協働し、景観形成に対する市民や事業者への意識啓発を行います。

### 2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、すべての事業について取組みを実施しました。  
なお、千葉北西連絡道路計画が具体化前のため、幹線道路網の検証・検討については、実施する前段階として当該道路計画について関係機関への働きかけを実施しました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
各事務事業は、本年度スタートの都市計画マスタープランに掲げる目標の実現に向けたものでもあり、適切な土地利用の誘導や魅力的なまちなみづくりを推進しました。	都市計画と景観形成に関する事務事業は、広範囲に渡りますが、各々の段階に応じた取組みを積み重ねています。都市計画の中の景観のあり方など融合した取組みにも期待されます。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

基本計画や都市計画マスタープランの都市づくりに関する目標を受け、地権者や事業者の協力、国や県との協議・調整を踏まえながら都市計画決定や許認可などのまちづくりを推進してきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	都市計画に関する総合調整	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区計画制度などを活用し、地区の個性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。</li> <li>・産業用地の創出や住工混在の解消に向けた土地利用を図るとともに、千葉北西連絡道路の進捗にあわせて、新たなまちの活性化に向けた土地利用を検討していきます。</li> </ul>		
関連する市の計画等	第4次総合計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	指	千葉北西連絡道路要望活動	都市計画決定、変更事務
		(仮称)公園坂通り地区計画策定業務	都市計画法第53条に基づく許可事務
		都市計画マスタープラン印刷・製本	生産緑地法第8条に基づく許可事務
		我孫子駅北口土地区画整理事業 清算事務	都市計画に関する情報の管理提供
		我孫子駅前土地区画整理事業 清算事務	産業系土地利用検討業務
		紛争予防条例に基づく届出の受理、あっせん業務	
		地区計画届出の受理、審査	
		(仮称)柴崎地区地区計画策定業務	
		特定生産緑地 指定事務	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	204,535	53,070	6.10	39	0.02	257,644	0	0	0	114,459	143,185
令和3年度	決算見込額	11,225	35,155	3.95	2,456	0.85	48,836	0	2,000	0	0	46,836
令和4年度	当初予算額	1,488	29,635	3.50	2,636	0.85	33,759	0	0	0	170	33,589
	補正後予算額	1,667	29,635	3.50	2,636	0.85	33,938	0	0	0	328	33,610
	決算額	1,523	29,635	3.50	2,621	0.85	33,779	0	0	0	0	33,779

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	地区計画策定の進捗率	%		目標値	30	50	100	100
				実績値	30	50		
活動 指標	公開型GIS(都市計画図)の閲覧回数	回		目標値		4200	4300	4400
				実績値		4662		
指標				目標値				
				実績値				
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	まちづくり懇談会やアンケートにより市民の意見を聞き、地区計画策定に向けた素案を作成した。GIS情報を適切に更新し周知することにより、都市計画情報の閲覧回数目標値を上回った。
成果に対する評価	順調	住民主体のまちづくりへの着実な取り組み、また、GISの導入による住民や民間事業者の利便性向上により、魅力あるまちづくりや市の発展への成果につながった。
総合的な評価	順調	都市計画マスタープランに掲げる目標の実現に向け、適切な土地利用の誘導や、地区の特性を活かしたまちづくりを推進した。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市計画マスタープランの「土地利用に関する方針」や「市街地環境整備に関する方針」で掲げる地域特性に応じた土地利用や「都市の魅力向上に関する方針」で掲げる拠点整備のために必要な事業であるため。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	景観形成に係る規制誘導
	担当部署名	都市部 都市計画課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。
事務事業の目的・概要	屋外広告物の設置規制や建築物などの景観誘導により、手賀沼をはじめとする自然景観や歴史・文化的景観など地域資源を活かしたまちなみを形成していきます。	
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン、景観形成基本計画、環境基本計画、緑の基本計画、観光振興計画、文化財保存活用地域計画	
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	屋外広告物の表示等許可及び違反広告物の簡易除却	
	民間事業者による景観計画区域内行為の景観誘導	
	公共施設の整備及び公共サインの設置に係る景観協議	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1	8,265	0.95	4,772	1.61	13,038	0	0	0	1,748	11,290
令和3年度	決算見込額	13	13,350	1.50	2,572	0.80	15,935	0	0	0	2,320	13,615
令和4年度	当初予算額	47	13,575	1.50	2,225	0.72	15,847	0	0	0	1,400	14,447
	補正後予算額	29	13,575	1.50	2,225	0.72	15,829	0	0	0	1,400	14,429
	決算額	12	13,575	1.50	2,194	0.72	15,781	0	0	0	1,478	14,303

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	違反広告物の簡易除却件数	件		1200	669	800	750	650
				100	100	100	100	100
活動 指標	民間事業者による景観計画区域内行為の事前協議済率	%		100	100	100	100	100
				100	100	100	100	100
活動 指標	公共施設の整備及び公共サインの設置に係る景観協議済率	%		100	100	100	100	100
				100	100	100	100	100
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	民間事業者及び行政による建築行為や開発行為等に係る事前の景観協議について、計画の内容に応じて提案・指導を行い、協議済率100%を堅持した。
成果に対する評価	順調	違反広告物の除却件数（≒掲出数）が減少傾向にあるなど、我孫子市が市民と協働で取り組んできた景観まちづくりに対する民間事業者の理解・協力が進んでいるものとする。
総合的な評価	順調	建築物等の色彩及び屋外広告物の大きさ・色彩等の規制・誘導や、まちの美観を損ねる違反広告物の除去は、手賀沼などの景観資源と調和した良好かつ魅力的なまちなみづくりに不可欠である。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市計画マスタープランの「都市の魅力向上に関する方針」で掲げる地域の特性を活かした都市景観の形成に必要な事業であるため。なお、今後の課題として、上位計画や関連計画の改定・策定を踏まえ、我孫子市の景観づくりの方針や基準等の見直しを検討する。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	景観まちづくりの普及啓発	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めています。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。	
事務事業の目的・概要	景観づくりを進める市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めていきます。		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン、景観形成基本計画、環境基本計画、緑の基本計画、観光振興計画、文化財保存活用地域計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	市内の魅力的な景観に関する情報の発信		
	景観ポイントの魅力化		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	合計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	206	7,830	0.90	21	0.01	8,057	0	0	0	0	8,057
令和3年度	決算見込額	165	8,900	1.00	25	0.02	9,090	0	0	0	0	9,090
令和4年度	当初予算額	186	8,570	1.00	331	0.11	9,087	0	0	0	0	9,087
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	186	8,570	1.00	323	0.11	9,079	0	0	0	0	9,079

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

指標	種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動	市民団体によるハケの道の魅力化活動への支援回数	回	回	目標値	3	2	2	2
					実績値	1	3		
	活動	「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催回数	回	回	目標値	4	4	4	4
					実績値	4	4		
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	市民との協働による景観まちづくり活動について、目標値以上の回数の支援等を行った。
成果に対する評価	順調	当該年度の「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者を対象としたアンケートの結果、回答者全員が、当該事業が景観への興味・関心の喚起に「効果がある」又は「やや効果がある」と評価した。
総合的な評価	順調	良好な景観の保全・形成には市民・事業者・行政の連携・協力が不可欠である。景観形成の重要性について市民等の理解をより一層深めていくため、市民等の景観まちづくり活動への支援や景観に関する普及啓発事業を継続する必要がある。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好な景観の保全・形成に不可欠な市民・事業者・行政の連携・協力の推進に大きく寄与する事業であるため。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幹線道路網などに関する調査・検討
	担当部署名	都市部 都市計画課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的・概要	市内の交通状況や道路の整備状況、国が検討を進めている千葉北西連絡道路の進捗に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。	
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン	
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業		
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	3,045	0.35	0	0.00	3,045	0	0	0	0	3,045
令和3年度	決算見込額	0	445	0.05	0	0.00	445	0	0	0	0	445
令和4年度	当初予算額	0	3,500	0.40	0	0.00	3,500	0	0	0	0	3,500
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	3,500	0.40	0	0.00	3,500	0	0	0	0	3,500

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	関係機関との協議回数	回	目標値	2	2	2	2	
				実績値	0	0			
	指標				目標値				
					実績値				
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	国において新たな広域幹線道路である千葉北西連絡道路の検討が進められている段階であるため、市の幹線道路網の見直しに係る関係機関との協議は開始できない。
成果に対する評価	順調	現段階においては、市のまちづくりに寄与するよう千葉北西連絡道路の実現に向けた取り組みを進めている評価とした。
総合的な評価	順調	将来の市内幹線道路網や土地利用のあり方に大きく影響する広域幹線道路の計画のため、国の検討状況を把握するとともに市の方針と整合を図りながら調整する必要がある。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	利便性や経済活動を支える幹線道路網は効果的に計画・配置する必要があるため。なお、その見直しには、影響が想定される千葉北西連絡道路の計画を踏まえながら行う。

## 令和4年度 課の目標管理書

課名：都市部 建築住宅課

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

【建築指導係・建築審査係】

- ・特定行政庁として適切な事務を実施します。
- ・快適な都市環境形成のための建築指導行政及び各種許認可事務の的確な実施を行います。
- ・我孫子市耐震改修促進計画に基づき、市内建築物の耐震化促進のため、戸建住宅耐震診断・耐震改修費及びマンション耐震診断費の助成制度を実施します。また、耐震化目標を達成するために、さらなる手法を検討します。

【市営住宅係】

- ・市営住宅の適切な維持管理を実施し、家賃等の滞納縮減をさらに進めます。

【住宅政策係】

- ・住宅に関する各種相談業務及び情報提供を継続的に実施し、多様な住生活のニーズに対応するとともに、空き家バンクの活用を促進することにより、空き家等の流通の活性化を図ります。
- ・住宅取得支援により、若い世代の定住化を進め、また、住宅リフォーム補助事業により定住促進及び空き家発生抑制を図っていきます。

### 2. 課の目標への取組結果

令和4年度の都市部運営方針に沿って設定した建築住宅課の目標については、適切な取り組みにより、概ね達成できたものと判断します。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
適切な取り組みにより、概ね達成できたものと判断します。	引き続き事業を適切に実施し、良好な住環境の保全に努めます。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

- ・特定行政庁の業務執行に要する適正な人員確保や多様化する業務に合わせた情報収集、スキルアップが必要です。
- ・市営住宅の運営において、長寿命化計画に基づく適正な維持管理を行っていくため適切な予算確保が必要です。また、入居率の向上に向けた取り組みを強化していきます。
- ・住宅政策については、さらに効果的な事業となるよう、引き続き事業内容や周知手法について検討していきます。



1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	建築物に係る防災対策事業		
	担当部署名	都市部 建築住宅課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的・概要	地震による建築物の倒壊などの被害を未然に防止するため、耐震診断や耐震改修への支援、耐震性などに優れた住宅の認定、損傷や劣化のある建築物への指導などにより、建築物の防災対策を推進します。			
関連する市の計画等	我孫子市耐震改修促進計画			
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	建築物等の定期報告の受理及び改善指導			
	耐震診断及び耐震改修に関する補助業務			
	長期優良住宅等の認定業務			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	6,800	22,620	2.60	127	0.05	29,547	2,542	2,772	0	0	24,233
令和3年度	決算見込額	1,650	19,580	2.20	1,339	0.60	22,569	550	274	0	500	21,245
令和4年度	当初予算額	3,854	12,283	1.45	130	0.04	16,267	1,902	848	0	0	13,517
	補正後予算額	650	12,283	1.45	130	0.04	13,063	300	149	0	0	12,614
	決算額	650	12,283	1.45	130	0.04	13,063	300	149	0	0	12,614

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	長期優良住宅認定申請	件		111	124	117	117	117
				111	129	117	117	117
活動 指標	木造住宅耐震セミナー・相談会 申込組数	組		10	10	10	10	10
				10	2	10	10	10
指標				目標値				
				実績値				
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルスの影響により木造住宅耐震セミナー・相談会申込組数は指標の目標値を下回りましたが、長期優良住宅認定申請件数は指標の目標値を上回っていることから、滞りなく事業実施できたと考えます。
成果に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルスの影響により木造住宅耐震セミナー・相談会申込組数は指標の目標値を下回りましたが、長期優良住宅認定申請件数は指標の目標値を上回っていることから、滞りなく事業実施できたと考えます。
総合的な評価	ほぼ順調	指標の目標値は達成できなかったものがあるものの、すべての事業について概ね適切な事業の実施に努めることができたと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市耐震改修促進計画に基づき、今後も建築物の防災対策を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	建築行為に係る審査・指導・認定等の業務
	担当部署名	都市部 建築住宅課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-1 適正な土地利用の推進
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。
事務事業の目的・概要	都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	違反建築物の処置業務	建築に関する報告および閲覧・証明業務
	各種届出の受理及び指導業務	
	狭あい道路（建築基準法第42条第2項道路）の拡幅指導と支援	
	建築に関する指導および審査業務	
	建築基準法に基づく許可及び認定業務	
	審査会及び審議会に関する業務	
	地区計画条例及び建築協定認可に関する業務	
	道路の指定に関する業務	
	民間確認検査機関報告書の事務処理業務	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	13,900	52,200	6.00	1,802	0.70	67,902	12,243	0	0	1,482	54,177
令和3年度	決算見込額	2,695	48,505	5.45	2,015	0.90	53,215	0	0	0	1,850	51,365
令和4年度	当初予算額	2,828	54,740	6.40	1,882	0.59	59,450	0	0	0	1,883	57,567
	補正後予算額	2,828	54,740	6.40	1,882	0.59	59,450	0	0	0	2,074	57,376
	決算額	2,766	54,740	6.40	1,882	0.59	59,388	0	0	0	2,296	57,092

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	建築確認処理件数	件		621	672	587	587	587
				621	707			
活動 指標	建築計画概要書等の写し・証明交付 件数	件		1823	2169	1935	1935	1935
				1823	2314			
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			
					目標値	実績値		
					目標値	実績値		
					目標値	実績値		
					目標値	実績値		
					目標値	実績値		
					目標値	実績値		

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	指標の目標値を達成できていることから、事業実施できたと考えます。
成果に対する評価	順調	指標の目標値を達成できていることから、事業実施できたと考えます。
総合的な評価	順調	指標の目標値を達成できていることから、事業実施できたと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好なまちづくりを進めるという目標に不可欠な事業であるため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	住居に関する相談・支援
	担当部署名	都市部 建築住宅課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めています。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。
事務事業の目的・概要	誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全・形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。	
関連する市の計画等	地域住宅計画（我孫子市地域）	
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	指 若い世代の住宅取得支援事業	
	住宅リフォーム補助事業	
	我孫子市増改築等施工業者紹介制度	
	住宅・不動産相談業務及び住宅情報提供業務	
	マンション管理に関する支援事業	
	我孫子市空き家バンク制度	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	38,344	17,400	2.00	0	0.00	55,744	15,266	0	0	0	40,478
令和3年度	決算見込額	39,312	17,800	2.00	0	0.00	57,112	15,825	0	0	0	41,287
令和4年度	当初予算額	43,390	17,565	2.10	0	0.00	60,955	19,513	18	0	0	41,424
	補正後予算額	38,540	17,565	2.10	0	0.00	56,105	17,038	18	0	0	39,049
	決算額	37,964	17,565	2.10	0	0.00	55,529	15,380	2	0	0	40,147

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	若い世代の住宅取得支援事業 申請件数	件		231	204	267	267	267
				204	213	263	263	263
活動 指標	住宅リフォーム補助事業 申請件数	件		213	267	263	263	263
				267	231			
活動 指標	住宅・不動産相談 受付件数	件		-	0	30	30	30
				0	11			
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			
指標				目標値	実績値			
				目標値	実績値			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	新型コロナウイルスの影響により中止していた相談会等の事業は年度途中より再開でき、また、各補助事業についても目標の9割程度は達成できたことから、ほぼ順調であると判断します。
成果に対する評価	ほぼ順調	相談業務は年度途中の再開であったことから目標値に届きませんでしたが、各補助事業については目標の9割程度は達成できたことから、ほぼ順調であると考えます。
総合的な評価	順調	すべての事業について概ね適切な事業の実施に努めることができたと考えます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	若い世代の住宅取得支援事業については、効果を検証し、事業の廃止を含めて検討していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市営住宅の管理・運営
	担当部署名	都市部 建築住宅課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。
事務事業の目的・概要	住宅に困窮する人に対し、安全で質の高い住宅を供給するため、市営住宅の適正な管理・運営を行います。	
関連する市の計画等	地域住宅計画（我孫子市地域）	
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	市営住宅使用料調定及び徴収事務	
	市営住宅入居者管理業務	
	市営住宅維持管理業務	
	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去	
	我孫子市公営住宅等長寿命化計画策定業務委託	
	公営住宅管理システム更新	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	21,933	21,315	2.45	0	0.00	43,248	0	0	0	21,462	21,786
令和3年度	決算見込額	27,790	21,805	2.45	0	0.00	49,595	0	0	0	24,050	25,545
令和4年度	当初予算額	40,169	26,348	3.15	0	0.00	66,517	2,992	0	0	50,448	13,077
	補正後予算額	39,411	26,348	3.15	0	0.00	65,759	2,400	0	0	47,913	15,446
	決算額	39,272	26,348	3.15	0	0.00	65,620	2,400	0	0	47,913	15,307

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動 指標	市営住宅入居者募集にかかる応募倍率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	75	88		
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	指標の目標値は達成できなかったものの、前年度を上回ったことから、滞りなく事業実施できたと考えます。
成果に対する評価	ほぼ順調	入居者の募集回数を増やしたことで、応募倍率が前年と比べ増加したほか、適宜、施設の修繕対応等を実施したことから、適切に管理・運営をすることができたと考えます。
総合的な評価	ほぼ順調	長寿命化計画の策定や公営住宅管理システムの更新をはじめ、すべての事業について概ね適切な事業の実施に努めることができたと考えます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	長寿命化計画に基づいた市営住宅の長寿命化を図るとともに、適正な管理・運営に努めます。

令和4年度  
課の目標管理書

課名：都市部 公園緑地課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・緑の基本計画で掲げる緑の将来像を実現していくため、計画の基本方針「緑を守る」「緑をつくる」「緑を育てる」「市民の緑づくりを進める」に則り、緑づくりの施策を推進していきます。また、緑の基本計画が今年度で計画期間が終了するため次期計画の策定をします。

- ・斜面林など手賀沼を取り巻く自然環境の一体的な保全に努めます。
- ・古利根沼の保全と再生を進め、市民が水辺、樹林地などの自然にふれあえる憩いの場とします。また、市民参加による森づくりなど、多様な生物生息空間の保全・再生を図り、自然にふれあえる場として活用します。
- ・公園・緑地の持つ機能に配慮し、地域資源（史跡、人や文化財など）を活用しながら、市街地で公園の不足している一部の地域において公園の整備を検討します。また、防災やコミュニティの場など市民ニーズに即した公園の整備を進めます。
- ・誰もが安全に安心して公園を利用できるよう遊具の定期点検や老朽化した公園施設の修繕を図るなど適正な維持管理を行います。利用者の実態に合わせ老朽化した遊具の更新や憩いの場となるよう子どもたちをはじめ、みんなが魅力を感じる公園づくりを行っていきます。
- ・手賀沼周辺の魅力向上の取組みとして、手賀沼公園にオープンカフェの設置を目指します。また、手賀沼遊歩道を利用される方の安全性を確保するため、経年により傷んだ路面や樹木の根により隆起した路面の舗装修繕や手賀沼親水広場前の遊歩道岸辺で洗堀が著しい60mの区間で護岸工事を行うとともに、維持管理計画に基づき植栽等の維持管理をしていきます。公園において、魅力向上や利便性の向上を図ると共に、新型コロナウイルス感染拡大により営業への影響を受けている市内・市外飲食店に対する販売機会の提供及び社会実験として、引き続きキッチンカーや露店による出店売者を募集します。
- ・市民手づくり公園制度の推進、みどりのボランティアの充実を図り、市民が自主的・主体的に公園づくりや森づくりに参加できるしくみを充実させます。
- ・公園の花壇など公共施設の緑化をはじめ、地域で一体的な緑化を進めます。
- ・手賀沼親水広場近くの手賀沼遊歩道のさくらのライトアップを行い、夜桜の観光スポットとして、手賀沼遊歩道の魅力向上に努めていきます。
- ・生産緑地の買取の申出にあたって、公園用地としての買取の検討や公共施設用地としての買取希望に関する照会などを行います。
- ・貴重な緑地の保全や公園用地を確保するため、緑の基金の充実に努めていきます。
- ・都市公園関係法令及び我孫子市都市公園条例等を遵守し、適正な公園利用の指導と許可を行います。
- ・墓地、埋葬等に関する法律及び我孫子市墓地等の経営の許可等に関する条例等やその他関係法令を遵守し、我孫子市の土地利用方針に基づき墓地経営予定者に対し、適正な指導、審査を行います。

2. 課の目標への取組結果

- ・令和5年度から始まる緑の基本計画を改定することができた。また、緑の基本計画に則り、市民の森、手賀沼沿い斜面林などの保全緑地、公園の維持管理を適切に実施した。
- ・手賀沼周辺の魅力向上の取組みとして、手賀沼公園に民間活力を利用したオープンカフェを開設した。また、手賀沼遊歩道維持管理計画に基づいた植栽等の維持管理を行い、経年等により傷んだ手賀沼遊歩道の補修工事（手賀沼親水広場前60m区間）を実施した。
- ・市民手づくり公園の推進、みどりのボランティア・公共施設の花壇活動の充実、手賀沼遊歩道のさくらのライトアップ等を実施した。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
令和4年度の公園緑地課の目標については、適正な管理運用により概ね達成できた。	令和4年度の公園緑地課の目標に対し、計画に則り適切に履行され目標が達成された。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後、公園維持管理（草刈・剪定）の民間委託範囲を拡充していく事が想定され、維持管理に係る経費（予算）や、事務手続き業務及び設計・積算・発注・監督業務が増加していくことが見込まれる。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼遊歩道の再整備	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大	
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。	
事務事業の目的・概要	誰もが安全で快適に手賀沼の水辺に親しめるよう、手賀沼遊歩道の利用促進を図っていきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	指	手賀沼遊歩道の樹木管理、舗装等修繕事業	
		さくらのプロジェクト	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	設計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,773	3,480	0.40	0	0	5,253	0	0	0	1,000	4,253
令和3年度	決算見込額	1,924	2,670	0.30	0	0	4,594	0	0	0	1,000	3,594
令和4年度	当初予算額	7,978	9,374	1.30	0	0	17,352	0	0	0	6,900	10,452
	補正後予算額	2,283	9,374	1.30	0	0	11,657	0	0	0	1,200	10,457
	決算額	2,138	7,961	1.12	0	0	10,099	0	0	0	1,200	8,899

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	篠竹の駆除	回		目標値	1	1	1	
				実績値	1			
活動 指標	ツツジの褐斑病対策	回		目標値	1	1	1	
				実績値	1			
活動 指標	舗装及び路肩修繕工事	%		目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
活動 指標	手賀沼の洗堀されている箇所の湖岸工事	個		目標値			100	100
				実績値				
活動 指標	灯具の基数	個		目標値	30	30	30	30
				実績値	30	30		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	手賀沼遊歩道の管理・修繕は、現状確認を重ね的確な把握を行い、計画的に実施した。さくらプロジェクトは、桜の開花や落花の情報収集を行い、またイベントに合わせ適期に照明設備の設置及び撤去を行った。
成果に対する評価	順調	的確な現状把握により管理・修繕を行い、手賀沼遊歩道の環境美化及び利用促進につながった。ライトアップによる幻想的な水辺の空間を創造することで、手賀沼遊歩道の魅力が向上した。
総合的な評価	順調	適正な維持管理や、季節に合った演出を行うことで、手賀沼遊歩道の環境美化や魅力向上、また利用者を拡大することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、手賀沼遊歩道の魅力向上・交流人口の拡大に努め、適正な維持管理（修繕）や利用促進の施策を進める。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公園の再整備	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-5 利用したくなる公園の整備	
	施策の展開内容	市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適に公園を利用できるよう、利用者のニーズに対応した公園の整備を進めます。</li> <li>地域にとってより魅力的で憩いの場となるよう、公園の再整備や適正な配置に努めていきます。</li> </ul>		
関連する市の計画等	緑の基本計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	指 手賀沼公園へのオープンカフェ整備		
	気象台記念公園の整備		
	公園のバリアフリー化推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計外責任職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	4,897	1,566	0.53	0	0	6,463	0	0	0	0	6,463
令和3年度	決算見込額	53,406	1,602	0.48	0	0	55,008	0	0	28,200	17,900	8,908
令和4年度	当初予算額	1,821	10,159	1.40	0	0	11,980	0	0	0	1,300	10,680
	補正後予算額	1,721	10,159	1.40	0	0	11,880	0	0	0	1,000	10,880
	決算額	1,438	8,746	1.22	0	0	10,184	0	0	0	1,000	9,184

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	公園候補地の検討・公園施設整備の検討	件	目標値	4	4	4	4	6
			実績値	0	1			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	手賀沼公園オープンカフェの整備は、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の影響はあったものの、事業者や関係機関と協議・調整を重ね必要なインフラを設備し、予定通り開店した。気象台記念公園の整備は、斜面樹林の育成を観察しながら、必要に応じて高木の間引きを行った。
成果に対する評価	ほぼ順調	オープンカフェが開店し、賑わいづくりの新たな拠点が生まれたことで、公園の魅力向上や交流人口の拡大に寄与した。斜面林の適正な育成管理を行うことで、近隣への安全・安心につながり、公園の快適な環境づくりを促進した。
総合的な評価	ほぼ順調	民間活力 (オープンカフェ) を利用し、魅力ある公園の整備を行うことができた。斜面を適切に整備し、安心・安全な公園の維持管理ができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、快適な環境で安全・安心に利用できるよう公園の再整備を進める。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公園の維持管理	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-5 利用したくなる公園の整備	
	施策の展開内容	市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが安全に安心して利用できるよう、公園施設の点検を実施し、必要に応じて老朽化した遊具など公園施設の更新を行います。</li> <li>誰もが利用したくなる公園とするため、施設の適正な維持管理を行っていきます。</li> <li>より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を進めています。</li> </ul>		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	公園の維持管理		
	公園許可事務		
	公園施設維持管理		
	公園清掃（自治会委託）		
	市民手づくり公園事業		
	公園の放射能対策		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	臨時職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	200,083	70,905	8.15	9,359	6.40	280,347	0	400	0	10,000	269,947
令和3年度	決算見込額	224,422	57,405	6.45	10,988	6.40	292,815	15,500	0	0	0	277,315
令和4年度	当初予算額	196,289	35,839	5.00	15,130	6.40	247,258	0	0	0	1,650	245,608
	補正後予算額	204,717	35,839	5.00	15,130	6.40	255,686	0	0	0	800	254,886
	決算額	199,146	27,607	3.83	15,130	6.60	241,883	0	0	0	800	241,083

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積	ha		150	150	151	151	153	
				150	150				
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	日常管理（草刈・剪定・清掃・遊具点検・許可事務）は、計画的な管理や緊急的な案件、要望・相談・苦情など様々な事業に臨機応変に対応しながら、適正な業務執行に努めた。手づくり公園の活動団体と協働しながら、要望された花苗や物品等を速やかに交付（配布）した。
成果に対する評価	順調	日常管理の適正な執行により、誰もが安全・安心に公園を利用することができた。活動団体への積極的支援により、地域のニーズに合った特色ある公園づくりを後押しできた。
総合的な評価	順調	良好な公園・緑地環境を維持し、更なる公園の利活用を促すことができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、誰もが安全・安心に利用できるよう公園の適正な維持管理に努める。 令和3年度以降、放射能対策（線量測定）については生活衛生課が事業を引継ぎしている。



1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	緑の基本計画の進行管理			
	担当部署名	都市部 公園緑地課			
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全			
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。			
事務事業の目的・概要	公園緑地施策の基本となっている緑の基本計画の進行管理を行い、公園緑地施策の方向性を確認、検証していきます。				
関連する市の計画等	環境基本計画、都市計画マスタープラン				
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	指	緑の基本計画の進行管理			
	指	緑の基本計画の改定			
継続費設定事業					
債務負担行為設定事業					

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳					
			正職員	(人工)	設計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
令和2年度	決算額	0	1,392	0.16	0	0	1,392	0	0	0	0	0	1,392
令和3年度	決算見込額	0	1,424	0.16	0	0	1,424	0	0	0	0	0	1,424
令和4年度	当初予算額	2,569	7,425	0.90	0	0	9,994	0	0	0	0	0	9,994
	補正後予算額	1,907	7,425	0.90	0	0	9,332	0	0	0	0	0	9,332
	決算額	1,882	7,425	0.90	0	0	9,307	0	0	0	0	0	9,307

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	緑の基本計画の進行管理	回		目標値	1	1	1	1	
				実績値	1	1			
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
				目標値					
				実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	市民委員と緑の活動団体で構成された検討委員会及び庁内検討委員会を設け、我孫子市の緑に係わる将来像について様々な意見交換を行い、また、アンケートやワークショップなどを実施することで、我孫子市の特色を生かした計画の策定のための多くの意見を広く聴取できた。
成果に対する評価	順調	従前からの基本計画「緑を守り育てる」に加え「緑を活用して市民一人ひとりが健康で心豊かに暮らし次世代に継承していく」という緑と生活を密接に繋げることを新たに盛り込んだ。
総合的な評価	順調	計画通り目標を達成することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市緑地法に基づく計画であることから、今後も適正な時期に更新（改定）を行う。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	緑地の保全と緑化推進	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携などにより古利根沼の水辺と周辺樹林地、市民の森などの緑づくりを進めていきます。</li> <li>くらしの中で自然が感じられるよう、条例に基づき指定した緑地を保全していきます。</li> <li>緑豊かなまちづくりを推進するため、市民などの主体的な活動に対する支援や、公共施設などの公共空間の緑化を進めるとともに、緑化の誘導を図ります。</li> </ul>		
関連する市の計画等	環境基本計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	市民の森維持管理		
	みどりのボランティアの充実		
	古利根沼周辺の保全と整備		
	手賀沼沿い斜面林維持管理		
	保存緑地・保存樹木		
	緑化推進		
	生産緑地事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	30,056	21,402	2.46	0	0	51,458	0	0	0	112	51,346
令和3年度	決算見込額	20,648	21,004	2.36	0	0	41,652	0	0	0	153	41,499
令和4年度	当初予算額	30,007	10,939	1.35	0	0	40,946	0	0	0	120	40,826
	補正後予算額	27,547	10,939	1.35	0	0	38,486	0	0	0	134	38,352
	決算額	27,035	10,509	1.28	0	0	37,544	0	0	0	134	37,410

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	古利根沼周辺の保全と整備：保全活用面積	ha		目標値	19.3	20	20	20
				実績値	19.3	19.3		
活動 指標	保存緑地指定面積	㎡		目標値	223,657	250,000	250,000	250,000
				実績値	223,657	207,058		
活動 指標	市民の森維持管理：適切に維持管理された緑地面積	ha		目標値	4	4	5	6
				実績値	3	3		
活動 指標	緑化推進：花壇用苗木等の提供により緑化を図っている公共公益施設数	ヶ所		目標値	50	51	52	53
				実績値	48	34		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	みどりのボランティアをはじめとする緑の活動団体と協働・連携し、市内の緑化推進に努めた。
成果に対する評価	順調	緑の活動団体と協働・連携により、市民の森など市内の森林の適切な維持管理や、公園・公共施設の花壇活動が活発に行われ、我孫子市の緑化推進・環境美化の一助となった。
総合的な評価	順調	概ね計画通り目標を達成することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	緑の保全や緑化推進・環境美化を維持していくため、緑の活動団体と協働・連携しながら事業を進める。

令和4年度  
課の目標管理書

課名：都市部 市街地整備課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、必要な見直しを行ってまいります。

・都市計画法令に違反する宅地開発事業の是正に努めるとともに、未然に防止するための必要な措置を講じます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおりの取組を実施した。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
取組結果に対する評価については、事務事業「開発行為に係る指導・許可等の事務」の評価値が「順調」、「宅地耐震化推進事業」の評価値が「ほぼ順調」であることから、目標のとおり推進できた。	取組結果に対する評価については、目標のとおり推進できた。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

秩序ある良好な土地利用の誘導、違反宅地開発事業の是正と未然に防止する措置を講じることや宅地耐震化推進事業などの事業を推進するためには、所属する職員一人一人が都市計画法令など必要とされる専門知識を正確に身につけ、実践力を向上することや体制強化を図る必要がある。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	宅地耐震化推進事業
	担当部署名	都市部 市街地整備課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。
事務事業の目的・概要	大地震に備えて市民の地域防災に対する意識向上を図るため、大地震により滑動崩落の恐れがある大規模盛土造成地について、ハザードマップなどにより情報提供していきます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	第二次スクリーニング計画の精査	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	9,558	3,045	0.35	0	0	12,603	4,778	0	0	0	7,825
令和3年度	決算見込額	0	3,115	0.35	0	0	3,115	0	0	0	0	3,115
令和4年度	当初予算額	0	10,860	1.20	0	0	10,860	0	0	0	0	10,860
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	10,860	1.20	0	0	10,860	0	0	0	0	10,860

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	第二次スクリーニング計画の精査	%		50	100	100		
				50	75			
活動 指標	第二次スクリーニング	箇所				1	1	1
成果 指標	第二次スクリーニング計画の精査の進捗率	%		50	100	100		
				50	75			
成果 指標	第二次スクリーニング調査率	%				3	6	15
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	法改正に伴う国や県の動向を確認しながら、第二次スクリーニング計画について精査を行った。
成果に対する評価	ほぼ順調	概ね期待とおりの結果である。
総合的な評価	ほぼ順調	概ね期待とおりの結果である。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	法改正に伴い千葉県との事務分担の確認、事業を進めるうえで必須となる専門知識を有する技術職員の確保及び体制強化、複数年にわたる事業となることから将来を含めた事業費の確保などが課題。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	開発行為に係る指導・許可等の事務	
	担当部署名	都市部 市街地整備課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的・概要	都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan）  指：指定事務事業	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務		
	違反宅地開発事業是正指導事務		
	国土利用計画法に基づく土地売買等届出に係る事務		
	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務		
	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務		
	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務		
	都市計画法第43条に基づく建築許可事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	353	46,545	5.35	0	0	46,898	0	0	0	353	46,545
令和3年度	決算見込額	201	47,615	5.35	0	0	47,816	0	0	0	201	47,615
令和4年度	当初予算額	113	38,178	4.80	0	0	38,291	0	0	0	113	38,178
	補正後予算額	530	38,178	4.80	0	0	38,708	0	0	0	530	38,178
	決算額	494	38,178	4.80	0	0	38,672	0	0	0	494	38,178

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	都市計画法第29条の許可事務	%		100	100	100	100	100
				100	100			
活動指標	都市計画法第32条の事前協議事務	%		100	100	100	100	100
				100	100			
活動指標	都市計画法第43条の建築許可事務	%		100	100	100	100	100
				100	100			
活動指標	国土利用計画法に係る届出事務処理	%		100	100	100	100	100
				100	100			
活動指標	公有地の拡大の推進に係る事務処理	%		100	100	100	100	100
				100	100			
成果指標	都市計画法第29条の許可率	%		100	100	100	100	100
				100	100			
成果指標	都市計画法第32条の事前協議締結率	%		100	100	100	100	100
				100	100			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	各種事務手続き等について、概ね適切に事務処理を行った。
成果に対する評価	順調	概ね期待とおりの結果である。
総合的な評価	順調	概ね期待とおりの結果である。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生産緑地の指定30年経過による指定解除に伴う土地活用の増加及び大規模化が想定されるなか今後も引き続き適切な事務処理を行うため、さらなる人材育成及び体制強化が課題。